

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

秋の気配 (悦) 写真(矢)

暑かったとはいえ、ミンミンゼミの声も力なく、秋の気配を感じる一日でした。1年間に市民の森の全散策路を踏破しようと、今回は野鳥の小径を利用しました。尾根を横切る道は木々に覆われ、下層植生が豊かとはいえませんが、ここでしか観察できない樹木のアサダ、暗い環境が好きなギンリョウソウモドキが観察できました。また、このルートには、市民の森で一番立派な枝ぶりのサワフタギがありますが、今年は花付きが悪かったので瑠璃色の実も余り見られなかったのは残念でした。



初めて参加して (古)

最初に秋の観察会に参加させて頂き、頭にとっても入りきれない情報でしたが興味深いことばかりでした。これだけで終わりにしてはと思い月例会に申し込みました。今まで吉田山は歩くだけで、植物をじっくり見ることはありませんでした。月例観察会は秋の観察会より少しゆったりしていて楽しい時間でした。イネ科の植物の品の良さ、虫こぶのリアル、蛾にしか見えないベッコウハゴロモ、桂の枯れ葉のキャラメル臭、等々面白いものが盛りだくさんでした。また、日増しに忘れることがたやすくなってきておりますが、少しでも知識を深めつつ、森歩きを楽しめたらと思いました。

コケにもスポット



イワダレゴケ



コツボゴケ

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266-75-1772

今日観察した花 (悦)

- キバナアキギリ キンミズヒキ
- ゲンノショウコ ヒメジオン
- アケボノソウ シラヤマギク
- ギンリョウソウモドキ アキノウナギツカミ
- ヌスビトハギ ヤマハギ ヒメジソ
- ミゾソバ ツユクサ タマアジサイ

今日観察した若い果実

- ツノハシバミ コナラ ナツハゼ
- タチドコロ ウリハダカエデ クサギ
- ツユクサ ガマズミ ミヤマガマズミ

野鳥の楽園コース (吉)

見上げた木々の葉の緑が陽に透けて、春の新緑のように綺麗で気持ちのいい観察会でした。久しぶりにザトウムシに会いました。ちなみに、座頭虫、あしながおじさんとも呼ばれることがあるそうです。

野鳥の楽園コース (矢)



木漏れ日注ぐ野鳥の小道を散策する風景はなにかほのぼのとした雰囲気漂います。ここはかつて子供たちが野鳥の楽園になるよう夢見て巣箱を設置しました。今、巣箱は無くなっています。しかし 市民の森は200ha 全てが野鳥の楽園なのかもしれません。そして、市民の池はトンボの産卵シーズン



今日観察した動物 (悦)

蝶:②109~118

- ジャノメチョウ
- ミドリヒョウモン
- ウラギンシジミ

蛾:②119、120

- クスサン



交尾

トンボ:②127、128

- オツネトンボ ●オニヤンマ
- セミ:②129
- エゾゼミ ●ミンミンゼミ
- ヒグラシ

その他

- ベッコウハゴロモ
- ツマグロオオヨコバイ
- ジウジナガカメムシ
- ミツクリハバチ幼虫
- ザトウムシ

両性類

- アマガエル

ロウタケ (そ)



鳥のフンが落ちてい
るのかと思うよう
な、でもロウの様な、
枯れ枝や植物の根
本、葉などに這い上
がって広がっている

ロウタケなるもの。この不思議なもの。キノコ
だそうです。初めて見ました。もしかして見て
いても気に止めていなかったのかも。
ロウタケ科ロウタケ属。ナデシコの花のような形
状になっているのもありました。

秋のイメージ (葉)

キノコに木の实や草の種、薄らと始まる紅葉な
ど秋を感じる観察会でしたが、この日はなぜか
白いものに目が惹かれた日でした。
コシロオニタケの1週間の成長、アキノギンリョ
ウソウ(本名:ギンリョウソウモドキ)、ロウタケ、ア
ケボノソウ。
夏から秋にかけては彩の多いイメージでした
が、実は秋には白いものも多いのだな、と目か
ら鱗でした。



アケボノソウ



アキノギンリョウソウ

ウコギの虫こぶ (矢)

今、ウコギの葉柄には沢山の虫こぶが見られます。
この虫こぶ内の住人はウコギトガリキジラミの幼虫ですが、
まるで・・・



葉柄に形成された虫こぶ

切ると二つの部屋が

中にはモコモコうさぎさん?

イネ科植物にもスポット



ススキ



チカラシバ



菌類、コケ類、地衣類 (su)

市民の森では草花や樹木、昆虫だけでなく、
キノコやコケ類もたくさん見られます。
分類学上は、菌類と地衣類は「菌界」、コケ
類は「植物界」だそうです。
よくわからない世界だけ
れど、いずれも森の住民
です。



コシロオニタケ:
これはキノコ。菌類。

ロウタケ:
植物についた白いカ
ビではなく、キノコ
(シロキクラゲ)の
仲間らしい。菌類。



カサゴケモドキ:
モドキが付くけれ
ど、コケ類。



ヒメジョウゴゴケ:
コケというけれど、
地衣類。



予期せぬ利用者 (桂)

何年前かに、子供たちが掛け
た巣箱。何個か入口が大きく
なっている。誰が、やったの
だろう? 樹洞がなかなか見つ
からず、モモンガがいい家を見
つけたと、入口を改築したの
だろうか?



小鳥だけでなく、ヤマメやヒメネズミ、リスも寝床にした
かもしれない。とにかく森の住人が使ったことは確かで、
感謝しているに違いない。



影を見てください。翅が透けている。